

● 草の根パートナー型

2015年度第2回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	セネガル共和国
2. 事業名	地域資源の循環による農村コミュニティ生計向上プロジェクト -農村青年層のための「ファーマーズ・スクール」
3. 事業の背景と必要性	事業対象地域では、灌漑が未整備であるのに加えて、地下水と土壌の塩化リスクにさらされる中、大多数を占める小農層が自立的な生計を営めない状況となっている。そこで、現状に欠けている次の3点に関し、人口の半数を占める若年層に技術移転し、継続的に地域全体に普及するリーダー層として育成する。 1. 農業に欠かせない水と土壌の保全 2. 田畑・家畜・森林など地域全体で得られる資源を相互に活用・循環する多角的資源活用農法 3. 年間を通じたコスト管理など農業経営の視点
4. プロジェクト目標	対象地域に住む青年層が、多角的資源活用農法（森林・土壌・水資源・農作物・家畜といった自然資源を多角的に活用する農法）の実践スキルおよび持続的な農業経営スキルを身につけ、継続的に実践すると共に、それらを他の住民に技術移転する仕組みができていく。
5. 対象地域	ティエス（Thies）州ンブル（Mbour）県ンゲニエール（Nguénière）行政村
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	ティエス州ンブル県ンゲニエール行政村に属する約20か村に居住する16歳から24歳までの年齢層を中心とした青年男女約500～600名。
7. 期待されるアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 多角的資源活用農法の実践スキルおよび持続的な農業経営スキルをモデル実践・普及する拠点としてファーマーズ・スクールが設立される。 2. 多角的資源活用農法の実践スキルおよび持続的な農業経営スキルを持つモデル農家（約60名）が対象地域の青年層の中から養成される。 3. 上記1のモデル農家が指導員となり、自身の居住村および他村の住民（約500名～600名）に対して多角的資源活用農法および持続的な農業経営の研修が実施できるようになる。  <活動> 1. モデル農場の整備と、研修・実践拠点としてのファーマーズ・スクールの設立 2. モデル農家の育成 3. 指導員の育成
8. 実施期間	2017年2月～2020年1月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	51,470千円
10. 事業の実施体制	（日本側：ムラのミライ）プロジェクトマネージャー1名、アシスタント・プロジェクトマネージャー1名、国内調整員1名、国内調整員補佐1名（セネガル側：現地CP機関NGO Intermondes（アンテルモンド））コーディネーター1名、アシスタント・コーディネーター1名、農業技術者1名、ケアテーカー2名
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ムラのミライ
2. 活動内容	途上国及び日本におけるコミュニティ・環境・経済のバランスの取れた地域コミュニティ開発と、それを担う人材の育成。